

【調布市自転車等対策実施計画改定版（案）】

調布駅周辺地区の施策の方向性

「お問い合わせ先 都市整備部交通対策課」

☎ 電話 : 042-481-7420・7454
 📠 FAX : 042-481-6800
 ✉ Eメール : koutuu@w2.city.chofu.tokyo.jp

● 調布駅の将来駐車需要予測

「平成 20 年計画策定当時」

	供給[台]	需要[台]		将来不足予想量 [台]
	H19. 8	H19. 8	H37 年度	
南口・北口	7,469	8,200	7,800	340

「改定計画」

◆ 調布駅の乗降客数^{※1} 増加見込みによる補正 (H31→R7)

H31.1 駐輪需要	補正	令和 7 年度の駐輪需要
6,588 台	× 1.10	7,250 台

令和 7 年度の調布駅周辺における公共の自転車等駐車施設整備台数を乗降客数により自転車等利用が増加すると想定し、7,250台とする。

[供給台数] ^{※2}	平成 20 年 計画策定時	令和 2 年 7 月時点	令和 7 年度 (計画終了)
公共自転車等駐車場	7,469	6,915	7,250
民間自転車 等駐車場	一般	689	700
	建物附帯	941	1,978

※1 駅周辺の開発や人口の増加に伴い、調布駅は乗降客数が増加していることから補正を行った。(H25 から H27 までの伸び率と H26 から H27 までの伸び率を比較し、高い方の値を採用。乗降客数の出典：都市交通年報)

※2 改定計画では供給台数に民間の自転車等駐車場を含めている。これは、公共自転車等駐車場の有料化による民間事業者の参入の促進(施設整備に対する補助)を図っていること、商業施設建設時に附置義務によって整備された自転車等駐車場は長期的にサービスを提供すると思われるためである。

●調布駅周辺の現状

◆令和2年度以降の自転車等駐車施設の動き

- ・公有化等を行った自転車等駐車場用地の立体化。
- ・路上自転車駐車場の検討・設置の実施。
- ・調布駅南地下自転車駐車場整備計画の見直し。

◆調布駅周辺の自転車等駐車施設



施設名	自転車収容台数	バイク収容台数	総収容台数	料金
1-調布駅北第1自転車駐車場	2,051	0	2,051	有料
2-調布駅北第2自転車駐車場	1,617	0	1,617	有料
3-調布市立調布南代替自転車駐車場	750	0	750	有料
4-調布市立調布南第1自転車駐車場	672	0	672	有料
5-調布市立調布西第3自転車駐車場	175	0	175	有料
6-調布市立調布西第1路上自転車駐車場	373	0	373	有料
7-調布市立調布西第2路上自転車等駐車場	278	12	290	有料
8-調布市立調布東第1路上自転車等駐車場	177	10	187	有料
9-調布市立調布東第2路上自転車等駐車場	320	40	360	有料
10-調布市立調布東代替自転車等駐車場	400	40	440	有料
合計	6,813	102	6,915	-

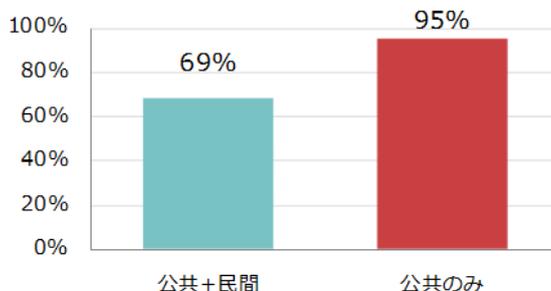
◆調布駅の需給バランス

調布駅	駐車需要量 (台)(a)	収容台数 (台)(b)	ピーク時稼働状況 (a)/(b)	
総計	6,588	9,582	68.8%	
公共自転車等駐車場	4,666	6,915	67.5%	
民間	一般	464	689	67.3%
	建物附帯	1,218	1,978	61.6%
放置自転車	240	-	-	

※需要量はH31年1月実施調査、

収容台数は令和2年7月現在

調布駅・需給バランス



◆備考

- ・駅周辺に商店街や大型商業施設が複数立地している。
- ・調布市役所，調布市グリーンホール，調布市文化会館たづくり等公共施設も多く立地している。
- ・平成24年8月の京王線地下化とともに，平成29年秋の調布駅周辺の商業施設オープンなど，交通環境等が大きく変化した。
- ・調布市では公共自転車等駐車場の利用者の状況を踏まえ，平成31年4月に一時利用の時間単位の見直しを図り，利便性の向上に伴い，特に調布駅周辺の自転車等駐車場は利用状況が大きく変化した。



●今後の取り組み

■■ 施策取り組みの方向性 ■■

- ・借地による公共自転車等駐車場については，長期的に自転車等駐車場として利用できるように土地の公有化等を進め，立体化を図る。
- ・公共自転車等駐車場の一時利用の混雑緩和を図る必要があり，また，買い物客による短時間の駐輪需要に対応するため，路上駐輪場について検討を進める。
- ・大型自転車の増加への対応を行う。
- ・民間自転車等駐車場については，土地利用の転換などから撤去の可能性があるため，駐車場への補助等の施策を行いながら，需要の状況を踏まえて公共自転車等駐車場の新規整備についても検討する。
- ・施設の老朽化の対応などの検討を行う。
- ・放置自転車の状況を注視しながら，実態に合わせた追加対策を検討する。
- ・原動機付自転車・オートバイ（125cc以下）については，自転車の駐輪状況をみながら，運用の中で駐車スペースの調整を図っていく。